

2020年5月15日

制裁 – AISによる監視 (Sanctions – AIS Monitoring)

背景

国際P&Iグループに加盟するすべてのクラブは、法令上の義務に従って、高度な制裁遵守プログラムと手続きを維持しています。制裁リスクを管理するためにクラブが策定した規則と手続きは、国連安全保障理事会 (UNSCR)、英国金融制裁推進局 (OFSI)、米国国務省、米国外国資産管理局 (OFAC) 等の機関が提供するガイダンスを考慮に入れています。クラブは、メンバーの皆さまに対し、CircularやNews alertを通じて、制裁に関する最新の動向をお知らせするよう努めています。

AIS (自動船舶識別装置) を使用して船舶を追跡する能力は、クラブの制裁遵守プログラムの一部としてますます重要度が増しています。国際P&Iグループ加盟の全クラブが、このほど、追跡に関する共通の最低基準に合意しました。

船舶追跡ソフトウェアの検証

この急速に進展している分野において利用可能な製品の能力を各クラブが十分に把握しておけるように、国際P&Iグループの作業部会は、ハイリスクエリアでの船舶の監視に利用可能な技術について理解を深めるため、サービスの提供者との間で緻密な話し合いを行いました。その後、対象となる製品について、現在クラブが利用しているソフトウェアに対する実証試験が行われました。なお、国際P&Iグループ加盟の全クラブは、加入船の動きを追跡するため、民間のサービス提供者と協定を結んでいます。

船舶追跡に係る共通の基準の導入

すべてのクラブは、運航に関連する制裁の枠組みをメンバーに周知し、加入船が適用される制裁に違反して取引されることがないように徹底するという共通の目標を共有しています。ハイリスクエリアにおける船舶の追跡に関して合意した共通の最低基準は、制裁対象国の港への寄港、異常な航行、船舶のAIS発信装置の操作や停止、ハイリスクエリア内での船舶間貨物油積替作業等の活動を特定するのに役立ちます。

P&Iクラブは、メンバーの取引形態に影響を及ぼす可能性のある制裁と、制裁違反を回避するために講じることが可能な注意措置について周知徹底を図るため、追跡サービスの提供者から入手した情報を利用してメンバーに働きかけることがあります。この情報は、制裁に違反している船舶にクラブが誤って保険カバーを提供してしまうリスクを軽減するために利用することもあります。

AISによる追跡の限界

[2019年1月](#)のCircularで取り上げたように、船舶が不可解な進路変更をしたり、AIS信号の発信を停止した場合、制裁逃れを行っている可能性があります。しかし、制裁逃れを特定するという点において、船舶のAIS発信装置の日常的な監視は、完全な手法ではありません。信号を受信していないという理由だけで、船舶が「停電」している可能性がある、「違法行為」を行っている、またはAISを「停止」している可能性があるとするのは、誤解を招くことがあります。なぜなら、AIS信号が受信されない理由にはいくつか考えられるからです。例えば、以下のような理由です。

1. 特に、航行量の多い水域では、船舶に問題があるのではなく、AIS信号の受信に問題がある可能性があります。これは一般的な問題です。

- サービス提供者によって使用しているAIS受信機が異なるため、あるサービス提供者がAIS信号を受信していないとしても、他の提供者ではAIS信号を正常に送信している可能性があります。
- 米国の海運勧告で取り上げられているように、他の船舶が虚偽のAISを送信し、別の船舶のIMO番号(固有の船舶識別コード)を使用することにより、船舶の偽装(spoofing)が行われることがあります。こうした偽装の結果、無実の船主が、保有船が実際の場所から何千マイルも離れたところにいるとの偽りの報告があったことや、制裁逃れの罪に問われていることを知って驚く可能性があります。
- 海上における人命の安全のための国際条約(「SOLAS条約」)では、「国際的な協定、規則、基準によって航行情報の保護が規定されている場合を除き、AISを搭載する船舶は常時AISを作動させなければならない」と定めており、SOLAS条約に従って船舶のAIS装置を作動させないと、旗国要件に違反したことになります。しかし、SOLAS条約は、安全・保安上の理由でAIS発信機を停止させることを認めており、したがって、発信機が停止された場合であっても、その正当な理由があるとも考えられます。
- 船舶が旗国要件を遵守していない場合、船主は、P&Iクラブのルールに基づく保険カバーを喪失するおそれがあります。AISデータの送信を操作あるいは停止して船舶の位置を隠蔽し、制裁に違反して船体を取引した場合、不謹慎で違法な取引であることを根拠としてP&Iカバーが提供されない場合もあります。

このような限界にもかかわらず、AIS送信の日常的な監視は、適用される制裁に関する法令を遵守し、そして、制裁逃れをすることを選択した船舶から保険カバーを剥奪するというクラブの継続的な取り組みの一環として重要な役割を担うものです。しかし、AIS信号の監視だけでは、効果的な制裁の遵守を確実にすることはできません。それは全体の一部に過ぎません。AIS以外のデータシステムも、船舶警報通報装置や旗国が提供するデータと合わせて、効果的な船舶監視プログラムを支援しています。専門家による生のデータ分析も極めて重要です。また、衛星画像は、ますます有用なツールとなっています。

国際P&Iグループに加盟するすべてのクラブが、ハイリスクエリアにおいて船舶を監視し、メンバーのリスク軽減に全力で取り組んでおり、同様の趣旨のCircularを発行しています。

以上
(翻訳)ブリタニヤP&Iクラブ日本支店

本 Circular はすべて英語版の日本語訳です。日本語訳と英語版の間に齟齬がある場合は英語版の内容を優先下さるようお願い申し上げます。